

# 私のひと言



矢吹町長  
野崎吉郎

「目指せ！交通事故ゼロ 1000日、10000日」

睦月から如月へ移ろうとする今の季節が、一番寒い。一番寒いこの季節に輪をかけて異常寒波が猛威を振っている今年は、やけに寒さが厳しい。そんなお正月も気が付いたら間もなく終えようとしている。いつまでもお正月気分が浸っていたのだが、状況は許さない。今年も年明け早々多忙だ。

差しあたって、年の始めの「私のひと言」の原稿締切を間近に控え、題材はと考え抜いて以下のことを思いついた。いつも心の片隅に留め置くことについて書いてみる。

まず、ヒントと言うかキーワードを列挙してみる。何のことか想像してみて頂きたい。年4回実施。46件、60名1名。お分り頂けたでしょうか。まだ分からない。それでは、主だった方の名前を挙げてみる。佐藤照夫氏、小林忠勝氏、菊地美枝氏。もう、お分りになったでしょう。そうです。正解は、矢吹町の交通安全に関わる数字や名前を書かせて頂きました。春・夏・秋・冬、年4回の街頭での交通安全テント村。昨年末の交通事故の発生状況。そして、白河交通安全協会矢吹支部長、

交通安全教育専門員、交通安全母の会々々の名前である。

私自身、今年も神社仏閣へ元朝参りをした。いつもの年と同様、平穏な矢吹であって欲しいと願いを込め祈願した。平穏とは勿論、無事故であって欲しいとの思いを含めてのことだ。その後、「白河地区安全協会交通安全祈願祭」を鹿嶋神社で、続けて矢吹町の交通安全を願う「矢吹町交通安全祈願祭」を矢吹神社で、多数の交通安全関係者出席の下、執り行われた。町の祈願祭は、毎年のように、当町において死亡事故が発生することを憂慮する佐藤支部長の音頭で、何んと昨年20年ぶりに復活されたのであり、お陰様で昨年は交通事故が減った。矢吹町を筆頭に、年々交通事故は、全国・県・白河警察管内においても減少傾向にあることはご案内の通り。正月早々の新聞報道によれば、昨年の県内の交通事故死者数は60年ぶりに80名を下回ったと言う。管内でも一昨年の8名から3名と、大幅に減ったとの報告がなされた。

しかし、減少傾向にあるといっても、国道4号、県道10路線、さらに網の目のように張り巡らされている町道と、当町の交通環境は容易ならざるものがあり、昨年1名の方が亡くなられた。過去10年間で「死者0」は、平成19年と平成22年の2回のみ。ここ3年の数も「2」、「2」、「1」と、数こそ多少減ったが、「0」ではない。隣りの中島村、そして、人口数、道路事情もよく似ている西郷村が、昨年、「交

通死亡事故ゼロ1000日」を達成した。両村で達成出来て当町で達成出来ない筈はない、この思いは強い。

町では、様々な手段を講じている。やっけないわけではない。悲惨な交通事故を一件でも失くそうと、交通安全協会の皆さんが、毎日のように朝・夕街頭パトロールを、年4回の交通安全テント村を、毎月第3金曜日には防犯も兼ねて「新・矢吹方式」なる防犯パトロールを、子どもの通学時の安全確保のため見守り隊・交通安全教育専門員が街頭指導を、交通安全母の会の皆さんによる交通安全教室等々の活動を実施して頂いている。改めて年初に当たり、交通安全に関わる皆さんに心から感謝したい。

このように、多くの団体やボランティアの皆さんが町民の安全・安心のために活動している。しかし、大事なことは、町民一人ひとりの皆さんの心の持ち方にある。車を運転する人は道行く人を気遣い、歩行者は事故に絶対遭わないといった心懸けが重要であること。を今一度強く認識して頂きたい。

昨年、東郷地区内に新しく、大きな看板を立てさせて頂いた。その看板には、「目指せ！交通事故ゼロ、1000日、10000日」と。町の切なる願いであり、目標でもあり、決意でもある。

このスローガン通り、今年1年の町の無事故をお祈りし、今月の私のひと言とする。

# まちの話題

## TOWN TOPICS

「光りますルールとマナー」と「反射材」交通安全啓発活動実施



12月10日から1月7日までの「年末年始の交通事故防止県民総ぐるみ運動」期間に伴い、町では12月17日、弥栄地内の県道交差点で交通事故防止啓発活動を行いました。交通団体・防犯団体が一致団結して事業に取り組む「新・矢吹方式」により、約30名が参加し、ドライバーの皆さんにチラシなどを配りながら、交通安全を呼びかけました。今後、引き続き早めのライト点灯などを心がけ、交通事故防止にご協力をお願いします。

「来季の活躍を願い」中畑監督との交流会開催



12月21日、横浜DeNAベイスターズ中畑清監督後援会主催による中畑監督との交流会が、ホテルニュー日活で開催されました。交流会には、後援会会員をはじめ、中畑監督のファンや関係者など約220名が参加し、中畑監督からチーム成績報告や後援会の応援に対する感謝が述べられました。また、矢吹スポーツ少年団の大竹由峰さんから中畑監督へ花束贈呈、鏡開きや中畑監督との一問一答、抽選会などが行われ、終始和やかな交流会となりました。

「矢吹ご当地アイドルプロジェクト」9名のユニット結成



12月21日、矢吹町バンド連合会（長尾裕之会長）主催の「矢吹ご当地アイドルプロジェクト」が、エクト！オーティション」が、町文化センターで行われました。オーディションでは、歌やダンス、矢吹のPR発表が行われ、合格した9名のユニット名は、「SHUN-R@n GIRLS☆」（しゅんらんガールズ）に決定しました。3月に町文化センターで開催予定のデビューイベントを皮切りに、県内外のイベントに参加しながら矢吹町のPR活動を行っていく予定です。

「光南高校からプロ野球独立リーグ入団へ」八木澤投手ドラフト指名報告



光南高校の八木澤天成投手（3年）が1月8日、大越憲峰校長達とともに町役場を訪れ、北陸・上信越地方の独立リーグBCL（ベースボールチャレンジリーグ）の群馬ダイヤモンドペガサスからドラフト6位指名を受けたことを野崎町長に報告しました。八木澤投手は、「野球界を代表する投手」と抱負を色紙に書き、「これから厳しい環境の中で自分を磨きながら、応援して下さった方々や親に恩返しができるよう頑張ります。」と、決意を語りました。

# 温かいご支援 ありがとうございます

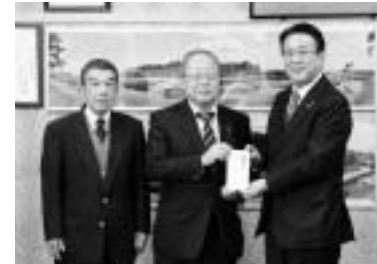
町の復旧・復興、まちづくりのため、ご支援いただいた皆様をご紹介します。

## ふるさと思いやり基金



・泰楽五郎様  
この他、「やぶき夢音頭」CD・歌詞額もご寄附いただきました。

## 災害復興支援金



・株式会社菊地測量設計  
代表取締役 鈴木俊雄様

## 土地

・有限会社岩瀬不動産ホーム 代表取締役 眞船 眞様

地区行政区のゴミ集積所として使用することを目的に、八幡町地内の土地をご寄附いただきました。

平成26年2月1日付け  
人事異動のお知らせ

税務課 主幹（白河地方広域市町村圏整備組合派遣） 三瓶貴雄

安心・安全・親切・丁寧

株式会社 上々

# 太陽タクシー

代表取締役 井上 健二

矢吹町 舘沢 58-9  
TEL 0248-41-1577

～JA東西しらかわ～

齋場選びは信頼・安心・いつも身近なJAで

# JA 齋苑やすらぎの杜

年中無休・24時間受付

矢吹 齋場 TEL. 0248-42-2221  
〒969-0213 福島県西白河郡矢吹町本町283



〜無火災・無災害の誓い  
新たに〜  
町消防団出初式

「平成26年矢吹町消防団出初式」が1月5日、矢吹小学校体育館で行われ、団員や女性消防隊員など約300人が参加しました。

式では、厳肅な雰囲気の中、小磯団長の式辞があり、次いで野崎統監が訓示を述べ、団員たちは今年1年の無火災・無災害の誓いを新たにしました。

冬の火災に注意!

冬は空気が乾燥し、暖房器具も頻りに使用するため、火災が起こりやすい季節です。各家庭での火の元・火の取り扱いには十分にご注意をお願いします。



〜平成26年町民新年会〜  
約260人が出席、  
新春を祝う

「平成26年町民新年会」が1月6日、ホテルニュー日活で開催され、約260名の出席のもと大きな盛り上がりを見せました。

開会の後、出席者全員で「町民の歌」を斉唱し、野崎町長や来賓の皆さんのあいさつ、鏡開きなどが行われ、新春の幕開けを祝いました。

また、歓談中のアトラクションでは、きさらぎ会や初音会の箏、花柳寿美和代さんやスポーツ民踊ひまわり会の踊りが披露され、新年会に華をそえました。

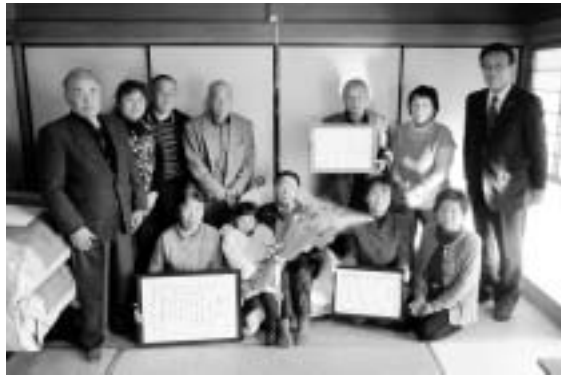


〜百歳おめでとうございませう〜  
和泉トシヨさんに  
賀寿贈呈

このほど、めでたく満百歳を迎えた和泉トシヨさん(弥栄)に県知事賀寿などが贈呈され、親族や関係者が長寿を祝いました。

和泉さんは大正3年生まれ。規則正しい生活をしていること、身体を動かすこと、好き嫌いなく何でも食べることが長生きの秘訣だそうです。

贈呈式は、和泉さんの誕生日1月9日に自宅で行われ、県南保健福祉事務所の加藤清司所長や野崎町長から賀寿や記念品が手渡されました。和泉さんの更なる長寿をお祈りいたします。



「晴れの門出」おめでとう!  
平成26年成人式開催

「平成26年成人式」が1月12日、町文化センターで「人は変わる」をテーマに開催され、187名(男97名、女90名)が大人の仲間入りをしました。

式典では、代表の立石兼也さんに成人証書が手渡され、野崎町長の式辞や栗林教育長の激励の言葉、来賓祝辞の後、成人者を代表して生田紀子さんが「私たちは、福島復興の復興に対して、これから先、皆様方と力を合わせて尽力してまいります。」と謝辞を述べました。



成人証書授与

さらに、伊藤潤さんより「日本や福島、矢吹町の為に、一人一人が大人になつたという自覚を持ち、今できることを精一杯することを誓います。」と決意が発表されました。新成人のみなさん、おめでとうございます。



謝辞



「私の決意」発表

〜被災者との絆を深める〜

コロンビア共和国ボランティアと国際交流会

12月26・27日の2日間、コロンビア共和国のボランティアとの国際交流会が、町保健福祉センターなどで行われました。

町社会福祉協議会主催のこの交流会は、コロンビアの「NPO法人コロンビアと日本の絆」から「東日本大震災の被災者のため何か役に立ちたい」と、町ボランティアセンターへ申し出があり、企画されたものです。

来町したのは、同法人のベータンクール・ニンフェル理事長と日本語学校の生徒達の6



名。26日には、借上げ・仮設住宅入居者とお互いの国の料理を作り、食事やダンス、ゲームを楽しむとともに、東日本大震災についての意見交換などが行われました。

また、27日にはひかり保育園で、園児達と遊びの交流や餅つき大会、午後にはデイサービスセンターを慰問し、利用者達と交流を深めました。



すなっけ

(各種大会激励会)



12月17日  
●第66回全日本バレーボール高等学校選手権大会出場

・小針 勝さん(郡山北工業高校2年)  
・三瓶智也さん(郡山北工業高校2年)



1月15日  
●第50回東北総合ハンドボール選手権大会出場

・光南高校女子ハンドボール部



12月20日  
●第2回全国選抜中学校テニス大会出場

・小室佑馬さん(石川義塾中学校2年)



●第36回全国高等学校柔道選手権大会東北地区大会出場

《団体》  
・光南高校男子柔道部  
《男子個人》  
・根本直人さん(光南高校2年) 81kg級  
・阿部豊司さん(光南高校2年) 60kg級  
・増子拓海さん(光南高校2年) 73kg級  
・高久仁志さん(光南高校2年) 60kg級  
《女子個人》  
・江藤里美さん(光南高校2年) 70kg級



文芸

やぶき里山短歌会

羽根黒く細き蜻蛉を幼き日  
神様とんぼと言ひてうやま  
心 佐藤 典子

去りし人待ちあるごとく昼  
顔は更地となりし草叢に咲  
く 高田 優子

噴煙のゆらめき昇る一切経  
風の寒さに肩すぼめ仰ぐ  
高村 輝雄

車窓よりけふもお叱り受け  
にけりETC設備の無き料  
金所 谷口 修作

汗くさき職人達と思ひしが  
かすかにコロナを忍ぼすも  
をり 松川千鶴子

黒猫が池の水飲む紅き舌水  
面に映り生めきて見ゆ  
水戸 米子